

<スクールアルバム>

クリスマスマーケット（本郷台駅前広場）
小学部のハンドベル演奏 キンチョ〜♪ ポップコーン販売(^^)/



全校生徒でクリスマス会
讚美（上）やプレゼント交換（下）
楽しかったね🎉



栄区社会福祉協議会の出前授業
ロールプレイやお話を聞いて“互いの理解”を深めました



お願い・ご報告

- 明けましておめでとうございます。今年も主によって皆さまの健康が守られ、支えられ、各ご家庭の上に主の祝福が豊かに注がれますようにお祈りいたします。どうぞ、よろしくお祈りいたします。
- 12月のスクールの活動、行事等は、祝福の中で行われました。お祈り、ご協力感谢您。
- Nさん（小6）、Tさん（中1）が1月より入学しました。よろしくお願いいたします。
- 2月1日（水）は、高等部学力考査（一次）実施のため、1～3限の通常授業で、昼食はありません。在校生は、12時下校です。12時15分には、完全下校になります。ご協力をお願いします。
- 2月2日（木）～3日（金）、スクールリトリートを実施します。対象は、小5以上です。ダイヤモンドチャペルで活動し、宿泊は上郷森の家になります。祝福をお祈りください。また、小1～4年生につきましては、2日（木）は、通常授業、3日（金）は、休校となります。ご理解・ご協力をお願いします。
- 2月10日（金）、当スクールを会場として実施される日本漢字能力検定に向けて、準備をしています。検定は、午後に実施しますが、詳細につきましては、後日お知らせします。
- 皆さまに呼びかけさせていただいた、ハンガーゼロ募金は 22,597円、赤い羽根募金は 1,525円になりました。ご協力に感謝します。
- 来年度に向けて準備が始まってまいります。新入生が多くあるようにお祈りくださり、またスタッフが整えられ、カリキュラム等の準備も整えられるようお祈りください。
- コロナウィルスやインフルエンザなどの感染症から守られるよう、これまで通り、手洗い・うがい・手指消毒をして、感染予防につとめましょう。マスクの着用につきましてもご協力をお願いします。



のあインターナショナルスクール スクール通信 1月号

2023.Jan. 1

VO | .187

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「お子さんを信頼していますか？」

高等院 HOPE 担任 岩村美奈子

明けましておめでとうございます。年の初めに、皆さまそれぞれ抱負を立てておられるでしょうか。私も、心に決め、神さまの助けを必要としていることがあるので、ここで宣言して取り組んでいきたいと思います。

昨年夏、中高時代の友人たちの SNS で話題になっていたのが、『われ弱ければ—矢島楯子伝』（三浦綾子原作、山田火砂子監督）という映画を観ました。矢島楯子（かじこ）という人は、ミッション系の女子校の初代校長になった人で、廃娼運動にも力を注いだクリスチャンです。

その映画の中で、生徒を信頼して校則をなくす、試験も監督無しで行う、という変革を決断する場面がありました。生徒に何も問題がなかったからその決断をしたわけではありません。その決断をしたときには、むしろ生徒が寮の門限を守らないことが問題になっていて、どうしたら良いかと先生たちが考える中で、楯子の出した答えがその決断だったのです。その後、私が生徒に向き合うときによく、このシーンが頭をよぎり、私は生徒を信頼できていないなあと何度も示され、今になって私の中でクローズアップされてきています。

ピグマリオン効果というのがあることが知られていますが、人は自分がどう見られているかということにかなり影響されて人格が形成されるようです。ある程度大きくなると、それに反発することも加わり単純でなくなっていく場合もありますが、子どものうちは特に、その影響はかなり大きいと言われています。つまり、信頼するに足る子どもだから信頼するのではなく、失敗したとしても信頼することをくり返し、子どもが、自分は信頼されていると思い、信頼するに足る人間だと感じて育つことで信頼に足る人として成長していくということです。

私自身が、うっかりしたり、先延ばしにするうちに時間切れになってしまったりと失敗することが多くても、神さまはそれでもなお、大切な生徒たちを預けてくださっていることを覚えます。足りない者で何かと迷惑をかけても、スクールの先生方は私の欠けを補ってくださりつつ、私の果たせる分に信頼を置いてくださいます。自分がそのようにたくさん大目に見てもらっていること、また、これまでの生徒たちが、会って間もない時には葛藤を覚えたような場合であっても、神さまが育ててくださることを見せていただいていたことを改めて思い、今年は子どもたちを、神さまがどうぞ覧になっているかにもっと思いを向け、部分的にではなく全面的に信頼しよう、そして信頼していることを伝えて行こう、と思いを新たにしています。

私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。（I コリント 3 : 6）
他人のしもべをさばくあなたは何者ですか。しもべが立つか倒れるか、それは主人次第です。
しかし、しもべは立ちます。主は、彼を立たせることがおできになるからです。（ローマ 14 : 4）

1月のカレンダー

日	月	火	水
1日	2日	3日	4日
		～1月6日(金) 冬休み	
		A先生誕生日	S先生誕生日
8日	9日 成人の日	10日 1限 HR 2限～授業・昼食開始	11日 学部別礼拝
	← 9日(月)～12日(木) スクーリング(高等部1,2年)		
15日	16日 代休(高等部1,2年)	17日	18日 合同礼拝(1限)
22日	23日	24日	25日 学部別礼拝(1限)
29日	30日	C先生誕生日	31日

- ・9日(月)～12日(木)、高等部(1、2年生)は、相生学院高等学校(兵庫県 猪名川校)でスクーリングです。前日8日(日)に出発します。また、続けて13日(金)～14日(土)に行われる全国クリスチャンスクール大会に参加します。祝福をお祈りください。なお、参加生徒は、16日(月)を代休とします。
- ・21日(土)10時～11時30分、今年度3回目の保護者会を行います。のあISを卒業した生徒の保護者の方に、スクール在籍中の子育てについて、お話をさせていただきます。ぜひ、ご参加ください。なお、今回の準備担当は、中学部の保護者の方々です。よろしくお願いいたします。
- ・保護者、スタッフ向けバイブルタイムは、12(木)、19(木)、26(木)です。13時15分からエスペランサの小屋にて行います

今月のみことば(暗唱聖句)

「それはわざわざではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」エレミヤ 29:11b

“says the Lord, thoughts of peace and not of evil, to give you a future and a hope.” Jeremiah, 29:11b

英語でも覚えましょう。是非ご家庭でもお子さまを励ましてあげてください。

祈禱課題

- 1、冬休み明け、スクールの生活が整えられるように。
- 2、スクール関係者の上に今年も豊かな恵みが溢れるように。
- 3、スクールの学習環境が良く整えられるために新しい場所が与えられるように。
- 4、スクール生がお互いを尊重し良い人間関係を作れるように。

木	金	土
5日	6日	7日
12日	13日 委員会活動(6限)	14日
保護者、スタッフ向けバイブルタイム	全国クリスチャンスクール大会(高等部1,2年)	
19日	20日 クラブ活動(6限)	21日 保護者会(10時)
保護者、スタッフ向けバイブルタイム	27日 クラブ活動(6限)	28日
26日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム		



子育てnote

子どもたちが勉強に習熟して行くための秘訣は、「スモールステップの繰り返しと積み重ね」とよく言われます。このことは私たちの子育てにおいても、大切なことです。私たちが子どもの小さなことに気を配り、大切にしながら繰り返し教え、その上に彼らの生活と人生を積み重ねていくことです。では何に、私たちは一番注意を払わなければいけないのでしょうか。それは彼らが人を尊重することを選び、学び取って成長していくことです。それにはまず、私たち自身が子どもを尊重して接していく必要があります。尊重すると言うのは、その存在を尊び、重い存在として受け止めるということです。「あなたは高価で尊い、私はあなたを愛している」これは、私たちのスクールが標語としている聖書の言葉ですが、まず親自身がこの言葉を自分に当てられている言葉であると受け止める必要があります。その上でいろんな場面の人間関係において、相手を尊び、重い存在と受け止める考え方、捉え方を伝えていく必要があります。実は、子どもの心には愚かさや狂気が満ちています。状況によっては、子ども達はいくらでも残酷になることができます。これが日本の社会を蝕んでいる「いじめ」の一番大きな原因であり、それは大人にもあることです。この、相手を尊んで、重い存在として受け止めるということの対極にある行動や言葉に接するとき、私たちは大人として、彼らを戒めていく必要があります。怒るのではなく、丁寧に説明していくのです。なぜなら、自分に接してくれている周りの人たちを子どもたちがどう見るか、量るか、それが彼らの将来を決定していくからです。人の、大人になってからの人格の違い、人間としての力量の違いはどのようにして生まれてくるのでしょうか。それは彼らが周りの人をどのように量ってきたかによります。それによって、その人の歩みは神によって決定されていくのです。「あなた方は、人を量る量りで、自分も量り返してもらうからです(ルカ 6:38b 新改訳 3版)」。人を裁くこと無く、良い量り、寛容な量りで量る人は、その周りの人々から良いものをたくさん吸収して成長することができます。一方で人を裁き、辛辣な言葉で評価する人は、それにふさわしい人格になっていくのです。特に、子どもたちの、親に対しての態度は大切です。親を尊重することを学び、身に付けていく子は、素晴らしい人間関係の中に成長していきます。彼らはスクールの先生たちをも尊重できるようになり、先生方の持っている良きものをたくさん吸収して成長することができるからです。

校長 月井博

